

コミュニティグループガイド

Community Group Guide



② 福音再考シリーズ - ヨハネの福音書

「神のわざ」

今日の聖書は、全能の力を持った愛と恵みの神がいるなら、苦しみや問題はなぜ起こるのかという切実な問いに迫る福音のストーリーです。イエスは生まれつき目の不自由な人をいやして「神のわざが現れるため…わたしは世の光です。」と大胆な宣言をしました。私たちも悪い出来事や苦しみの原因ばかりを探して疲れ果ててしまいがちです。しかし、イエスの福音を受け入れるなら、それは私たちの根本的な病の解毒剤となり、新しい人生が始まります。

聖書：ヨハネ福音書9章1-12節

9:1 またイエスは道の途中で、生まれつきの盲人を見られた。 2 弟子たちは彼についてイエスに質問して言った。「先生。彼が盲目に生まれついたのは、だれが罪を犯したからですか。この人ですか。その両親ですか。」 3 イエスは答えられた。「この人が罪を犯したのでもなく、両親でもありません。神のわざがこの人に現れるためです。 4 わたしたちは、わたしを遣わした方のわざを、昼の間に行わなければなりません。だれも働くことのできない夜が来ます。 5 わたしが世にいる間、わたしは世の光です。」 6 イエスは、こう言ってから、地面につばきをして、そのつばきで泥を作られた。そしてその泥を盲人の目に塗って言われた。 7 「行って、シロアム(訳して言えば、遣わされた者)の池で洗いなさい。」そこで、彼は行って、洗った。すると、見えるようになって、帰って行った。 8 近所の人たちや、前に彼が物ごいをしていたのを見ていた人たちが言った。「これはすわって物ごいをしていた人ではないか。」 9 ほかの人は、「これはその人だ」と言い、またほかの人は、「そうではない。ただその人に似ているだけだ」と言った。当人は、「私がその人です」と言った。 10 そこで、彼らは言った。「それでは、あなたの目はどのようにしてあいたのですか。」 11 彼は答えた。「イエスという方が、泥を作って、私の目に塗り、『シロアムの池に行って洗いなさい』と私に言われました。それで、行って洗うと、見えるようになりました。」 12 また彼らは彼に言った。「その人はどこにいるのですか。」彼は「私は知りません」と言った。

考えましょう

1. (1-2節) 弟子たちの問いはどのようなものですか？それは病気や人生の苦しみについて、彼らのどのような考え方を反映していますか？
2. 私たちは思いがけない病気やどうすることもできない問題に直面するときに、どんな反応をしますか？それはどうしてでしょうか？
3. (3-5節) イエスの宣言は、罪とそれによる悲惨な状態について、あなたにどのような新しい視点を与えてくれますか？イエスはなぜそのように言うことができたのでしょうか？
4. 旧約聖書におけるヨセフやヨブの物語によれば、私たちの人生は因果応報という単純な論理にしたがっているわけではありません。イエスによれば、聖なる愛の神のゆえに、苦しみや悲しみ、自分ではどうすることもできない問題について、どのように信じることができるのでしょうか？(参考 創世記45:4-5)
5. (6-7節) イエスが目の不自由な人に対してしたことはどんなことですか？それは奇妙なことでしたが、今日イエスの十字架の死を、神の愛と赦しの福音として受け入れることもナンセンスなことと考えられやすいと思います。あなたはそのような意見に対してどう答えますか？(参考 Ⅱ列王記5:10-12)

6. イエスは十字架の苦しみと死を通して神の愛と赦しを与え、復活して今も私たちを守り希望を示しています。イエスによれば苦しみや不条理にはどんな意味がありますか？（参考 ヘブル4:15-16）

読みましょう

創世記45章4-5節

私はあなた方がエジプトに売った弟のヨセフです。今、私をここに売ったことで心を痛めたり、怒ったりしてはなりません。神は命を救うために、あなた方より先に、私を遣わしてくださったのです。…神は私をあなた方より先にお遣わしになりました。」

Ⅱ列王記5章10-12節

5:10 エリシャは、彼に使いをやって、言った。「ヨルダン川へ行って七たびあなたの身を洗いなさい。そうすれば、あなたのからだは元どおりになってきよくなります。」 11 しかしナアマンは怒って去り、そして言った。「何ということだ。私は彼がきつと出て来て、立ち、彼の神、主の名を呼んで、この患部の上で彼の手を動かし、このツアラアトに冒された者を直してくれると思っていたのに。 12 ダマスコの川、アマナやパルパルは、イスラエルのすべての川にまさっているではないか。これらの川で洗って、私がきよくなれないのだろうか。」 こうして、彼は怒って帰途についた。

ヘブル書4章15-16節

4:15 私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯されませんでした。すべての点で、私たちと同じように、試みに会われたのです。 16 ですから、私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、おりにかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

祈りましょう

・イエスによれば、私たちが出会う苦しみや問題は、罪のさばきなのではなく、神のわざがあらわれる機会です。そのような恵みと愛を示してくださる神に感謝をささげましょう。十字架にかかって死んで3日目に復活したイエスのゆえに、苦しみにも意味があり、それによって私たちは神の子どもとして恵みを体験します。

・苦しみや問題によって、周りの人々や神に対して怒りをぶちまけたり、自己嫌悪に陥って不安や怖れに駆られるときに、私たちは自分の理想や神以外のものにより頼んでいるかもしれません。へりくだって自分の現状を認めて、イエスのもとに行き、イエスが与える赦しと愛に平安と満足を見出しましょう。

今週 ~ 来週のイベント

グレース シティ ゴスペル 6月22日（月）

ランチタイムミーティング 6月24日（水）丸の内 6月25日（木）大手町

礼拝/転入式 6月28日（日）

ランチタイムミーティング 6月30日（火）神保町 7月1日（水）霞ヶ関 7月2日（木）大手町

お弁当プロジェクト 7月4日（土）